

三重県議会 議会活動計画にかかる県民意識アンケートの結果概要

三重県議会では、現議員任期の最初である令和元年9月に「三重県議会 議会活動計画」を策定し、毎年度、取組の評価を行い改善へとつなげています。

《議会活動計画》 <https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000846364.pdf>

《議会改革の取組》 <https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001020054.pdf>

令和4年度はこの計画の最終年度であり、4年間の活動を検証するため、今回、e-モニターに登録されている方を対象に、県議会の現状や議会改革の取組などについてお聞きするアンケートを実施し、その結果を次のとおり取りまとめました。

1 実施期間 令和4年10月12日(水)から10月26日(水)まで

2 回答率 57.3%＜対象者数1,385名、回答者数793名＞

3 回答者年齢層別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
回答者数	4人	44人	90人	185人	212人	193人	65人
構成比	0.5%	5.5%	11.3%	23.3%	26.7%	24.3%	8.2%

4 回答者地域別

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
回答者数	397人	213人	100人	63人	20人
構成比	50.1%	26.9%	12.6%	7.9%	2.5%

【参考】三重県IT広聴事業(e-モニター)制度

e-モニターは、インターネットを活用して県民の意識傾向を把握し、県政への反映及び活用を図るための仕組みで、モニターを対象に年14回電子アンケートを実施しています。モニターは、県内各市町の選挙人名簿の登録者数を参考として、選挙人名簿から無作為に抽出した方(18歳以上)に募集案内を送付し、申込のあった方を登録しており、任期は3年を上限としています。令和4年10月1日現在のモニター数は1,385名です。

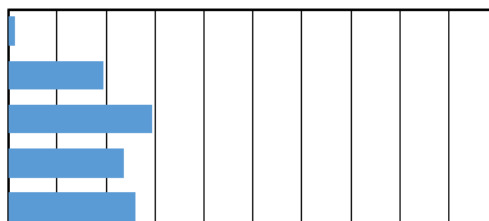
Q 1 開かれた議会運営の実現について

あなたは、住民の代表機関である県議会の活動が、住民にわかりやすく、また、住民が参加しやすい、開かれた議会運営が行われていると思いますか。

(主な取組) 広聴広報会議、議長定例記者会見、参考人制度の活用等

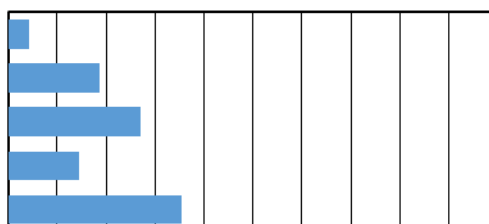
<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001037707.pdf>

ALL	回答数	割合%
そう思う	11	1%
どちらかといえばそう思う	155	20%
どちらかといえばそう思わない	233	29%
そう思わない	187	24%
わからない	207	26%
合計	793	100%

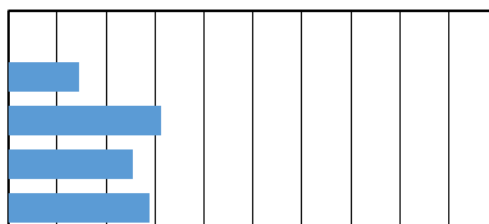


【 以下、年齢層別 】

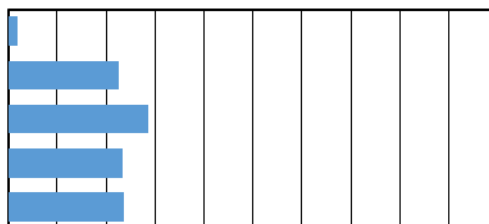
10代・20代	回答数	割合%
そう思う	2	4%
どちらかといえばそう思う	9	19%
どちらかといえばそう思わない	13	27%
そう思わない	7	15%
わからない	17	35%
合計	48	100%



30代・40代	回答数	割合%
そう思う	0	0%
どちらかといえばそう思う	40	15%
どちらかといえばそう思わない	86	31%
そう思わない	70	25%
わからない	79	29%
合計	275	100%



50歳以上	回答数	割合%
そう思う	9	2%
どちらかといえばそう思う	106	23%
どちらかといえばそう思わない	134	29%
そう思わない	110	23%
わからない	111	24%
合計	470	100%



Q 1 「開かれた議会運営」に関する県民からのご意見<計 63 件>

- (1) 分かりやすい情報提供の要望<13 件>
 - ・もっと分かりやすく知りたい。分かりやすく発信してほしい。
- (2) 広聴機能の強化 (14 件)
 - ・ネットを活用した広聴の場を。
 - ・県民の声をもっと聴いてほしい。
- (3) 広報機能の充実 (議会情報の発信・提供) <26 件>
 - ・新聞やテレビでもっと情報発信を。
 - ・ネットを活用してもっと情報発信を。
 - ・情報発信はしているが周知不足の感がある。
- (4) 議員活動を通じた広聴広報への期待< 1 件>
 - ・地域住民と十分な意見交換を行うこと。
- (5) その他、開かれた議会関係< 9 件>
 - ・もう少し開かれた議会討議をしてほしい。
 - ・議会だよりを見て、どのような議論がされているのか分かった。

Q 1 「開かれた議会運営」の分析結果

○全体では、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な評価が 21%に対し、「どちらかといえばそう思わない」及び「そう思わない」を合わせた否定的な評価が 53%と過半数を超えています。

また、「わからない」が 26%を占めています。

○10代・20代の層では「わからない」が一番多く、35%を占めており、また、他の年齢層の「わからない」の割合と比べ、最も高くなっています。

○自由意見では、広報機能の充実を求める意見が最も多くなっています。

Q 2 住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進について

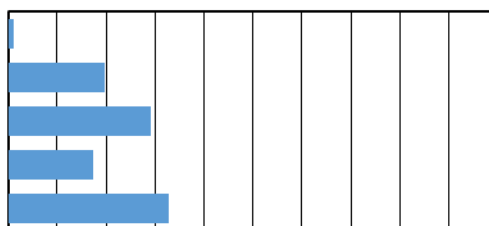
あなたは、県議会が行う政策決定と政策監視・評価が、住民の立場で真摯に取り組んでいると思いますか。

(主な取組)

委員会審議の活性化、当初予算に係る調査・審査、総合計画に係る調査・審査等

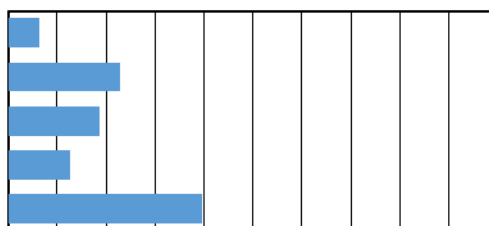
<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001036904.pdf>

ALL	回答数	割合%
そう思う	8	1%
どちらかといえばそう思う	157	20%
どちらかといえばそう思わない	231	29%
そう思わない	137	17%
わからない	260	33%
合計	793	100%

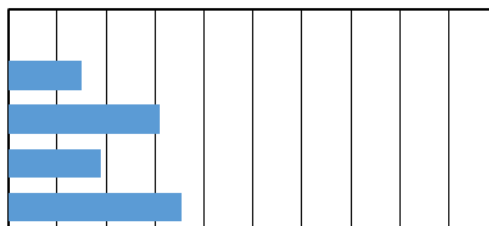


【 以下、年齢層別 】

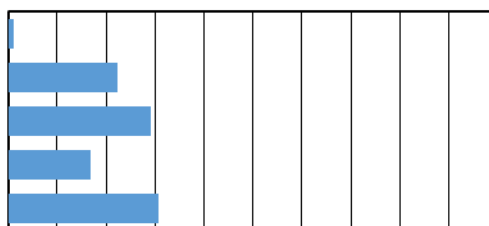
10代・20代	回答数	割合%
そう思う	3	6%
どちらかといえばそう思う	11	23%
どちらかといえばそう思わない	9	19%
そう思わない	6	13%
わからない	19	40%
合計	48	100%



30代・40代	回答数	割合%
そう思う	0	0%
どちらかといえばそう思う	41	15%
どちらかといえばそう思わない	85	31%
そう思わない	52	19%
わからない	97	35%
合計	275	100%



50歳以上	回答数	割合%
そう思う	5	1%
どちらかといえばそう思う	105	22%
どちらかといえばそう思わない	137	29%
そう思わない	79	17%
わからない	144	31%
合計	470	100%



Q 2 「住民本位の政策決定、監視・評価」に関する県民からのご意見

<計 7 件>

- ・住民目線の政策を立案、推進してほしい。

Q 2 「住民本位の政策決定、監視・評価」の分析結果

- 全体では、「わからない」が 33%を占め、一番多くなっています。
また、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な評価が 21%に対し、「どちらかといえばそう思わない」及び「そう思わない」を合わせた否定的な評価が 46%となっています。
- 10代・20代の層では「わからない」が一番多く、40%を占めています。
また、他の年齢層の「わからない」の割合と比べ、最も高くなっています。

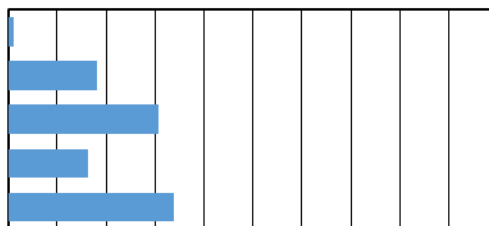
Q 3 独自の政策立案と政策提言の強化について

あなたは、県議会が知事及び執行機関から提出された議案を審議するだけでなく、住民本位の立場から、独自の政策提言や条例案などの政策立案への取組が行われていると思いますか。

(主な取組) 政策に係る議員提出条例の制定及び検証、議員勉強会の開催等

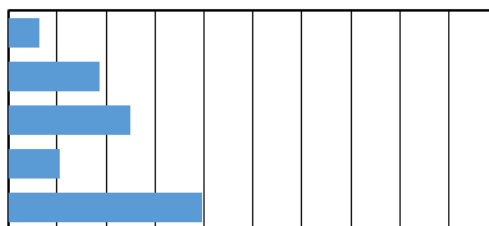
<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001037709.pdf>

ALL	回答数	割合%
そう思う	8	1%
どちらかといえばそう思う	143	18%
どちらかといえばそう思わない	244	31%
そう思わない	130	16%
わからない	268	34%
合計	793	100%

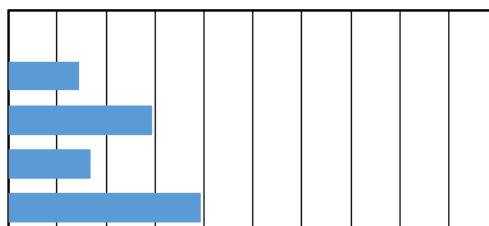


【 以下、年齢層別 】

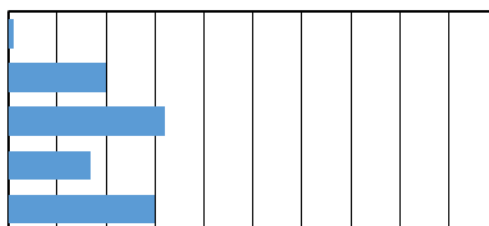
10代・20代	回答数	割合%
そう思う	3	6%
どちらかといえばそう思う	9	19%
どちらかといえばそう思わない	12	25%
そう思わない	5	10%
わからない	19	40%
合計	48	100%



30代・40代	回答数	割合%
そう思う	0	0%
どちらかといえばそう思う	40	15%
どちらかといえばそう思わない	81	29%
そう思わない	46	17%
わからない	108	39%
合計	275	100%



50歳以上	回答数	割合%
そう思う	5	1%
どちらかといえばそう思う	94	20%
どちらかといえばそう思わない	151	32%
そう思わない	79	17%
わからない	141	30%
合計	470	100%



Q 3 「独自の政策立案・提案」に関する県民からのご意見<計3件>

- ・県には魅力ある歴史的遺産や自然環境が沢山あるので、それをいかす提言を期待。

Q 3 「独自の政策立案・提案」の分析結果

○全体では、「わからない」が34%を占め、一番多くなっています。

また、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な評価が19%に対し、「どちらかといえばそう思わない」及び「そう思わない」を合わせた否定的な評価が47%となっています。

○10代・20代の層では「わからない」が一番多く、40%を占めています。

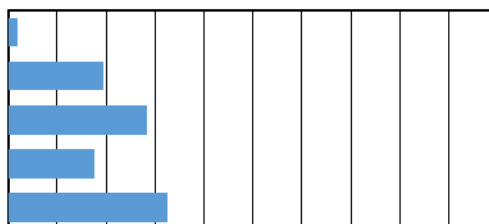
Q 4 分権時代を切り開く交流・連携の推進について

あなたは、県議会は、議会の取組を積極的に情報発信するとともに、全国の地方議会との交流・連携を深め、改革の輪を広げていると思いますか。

(主な取組) 全国都道府県議会議長会、紀伊半島三県議会交流会議等

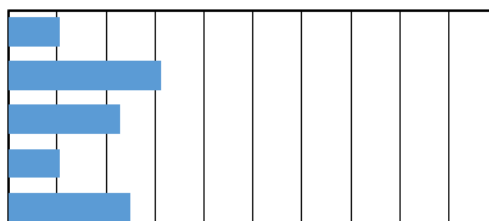
<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001036906.pdf>

ALL	回答数	割合%
そう思う	16	2%
どちらかといえばそう思う	155	20%
どちらかといえばそう思わない	225	28%
そう思わない	140	18%
わからない	257	32%
合計	793	100%

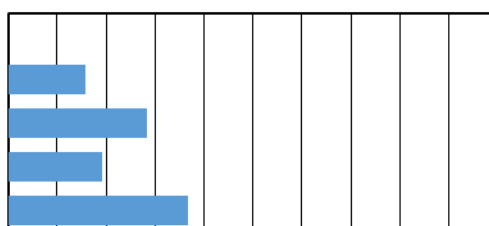


【 以下、年齢層別 】

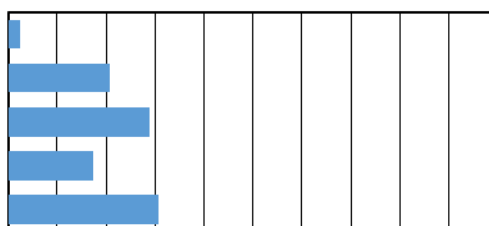
10代・20代	回答数	割合%
そう思う	5	10%
どちらかといえばそう思う	15	31%
どちらかといえばそう思わない	11	23%
そう思わない	5	10%
わからない	12	25%
合計	48	100%



30代・40代	回答数	割合%
そう思う	0	0%
どちらかといえばそう思う	43	16%
どちらかといえばそう思わない	78	28%
そう思わない	53	19%
わからない	101	37%
合計	275	100%



50歳以上	回答数	割合%
そう思う	11	2%
どちらかといえばそう思う	97	21%
どちらかといえばそう思わない	136	29%
そう思わない	82	17%
わからない	144	31%
合計	470	100%



Q 4 「他自治体との交流・連携」に関する県民からのご意見<計 0 件>

Q 4 「他自治体との交流・連携」の分析結果

○全体では、「わからない」が 32%を占め、一番多くなっています。

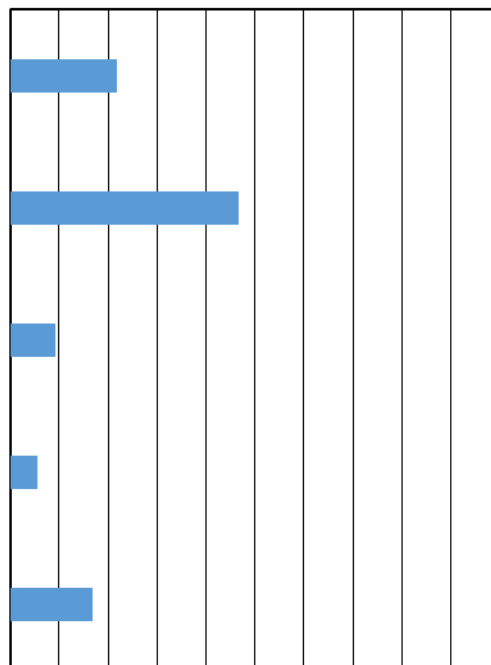
また、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な評価が 22%に対し、「どちらかといえばそう思わない」及び「そう思わない」を合わせた否定的な評価が 46%となっています。

○10代・20代の層では、「どちらかといえばそう思う」が一番多く 31%を占め、肯定的に捉えています。

Q5 県議会の活動について

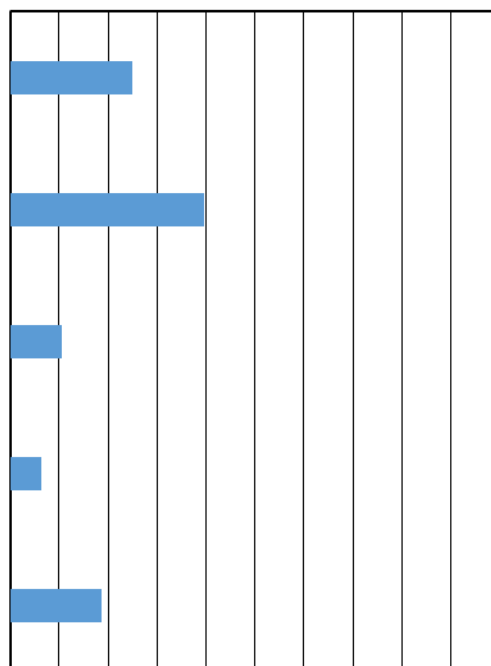
あなたは、県議会が今後どのような活動に取り組むべきだと考えますか。

ALL	回答数	割合%
開かれた議会運営の実現<県議会の情報提供の充実等>	172	22%
住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進<県民との意見交換の場等>	369	47%
独自の政策提言と政策立案の強化<議員提出条例の制定等>	74	9%
分権時代を切り開く交流・連携の推進<他県議会と共通する課題についての意見交換の場等>	44	6%
分からない	134	17%
合計	793	100%

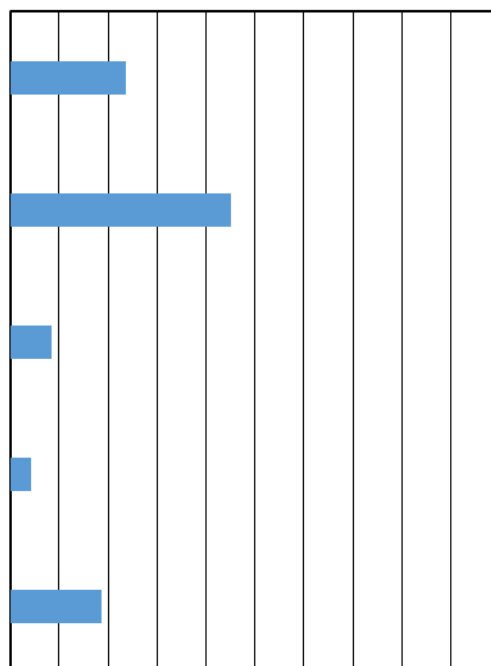


【 以下、年齢層別 】

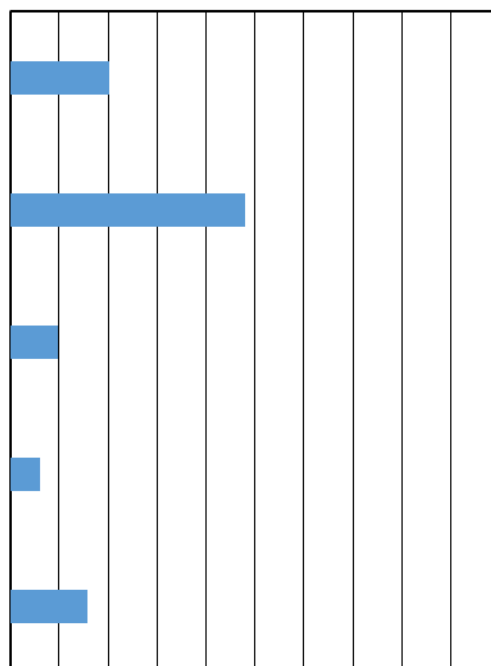
10代・20代	回答数	割合%
開かれた議会運営の実現<県議会の情報提供の充実等>	12	25%
住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進<県民との意見交換の場等>	19	40%
独自の政策提言と政策立案の強化<議員提出条例の制定等>	5	10%
分権時代を切り開く交流・連携の推進<他県議会と共通する課題についての意見交換の場等>	3	6%
分からない	9	19%
合計	48	100%



30代・40代	回答数	割合%
開かれた議会運営の実現<県議会の情報提供の充実等>	65	24%
住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進<県民との意見交換の場等>	124	45%
独自の政策提言と政策立案の強化<議員提出条例の制定等>	23	8%
分権時代を切り開く交流・連携の推進<他県議会と共通する課題についての意見交換の場等>	12	4%
分からない	51	19%
合計	275	100%



50歳以上	回答数	割合%
開かれた議会運営の実現<県議会の情報提供の充実等>	95	20%
住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進<県民との意見交換の場等>	226	48%
独自の政策提言と政策立案の強化<議員提出条例の制定等>	46	10%
分権時代を切り開く交流・連携の推進<他県議会と共通する課題についての意見交換の場等>	29	6%
分からない	74	16%
合計	470	100%



Q 5 議会の活動、取組、県(県議会)の役割、位置付けに関する

県民からのご意見<計 73 件>

- (1) 議会の取組に対する前向きな評価< 5 件>
 - ・ 沢山のテーマで頑張っていると思う。
 - ・ 他県に比較して民主的な運営がなされていると思う。
- (2) 議会の取組に対する批判< 7 件>
 - ・ 県議会に期待している一般の人は非常に少ないのではないか。
 - ・ 県民のことを考えているように感じない。
 - ・ 県民のための議会なのか議員さんのための議会なのかよく分からない。
- (3) 今後の議会の取組に対する期待< 2 件>
 - ・ 今後を期待する。
- (4) 県(県議会)の役割や活動内容が分からない<32 件>
 - ・ 県議会の活動については知らない、分からない、分かりにくい。
 - ・ 何をしているのか分からないし知る場所もない。伝わってこない。
 - ・ 国や市町と比べて県の活動がよく分からない。
- (5) 県(県議会)の存在が遠く感じる、関心がわかない<21 件>
 - ・ 県(県議会)のやっていることに興味がない、興味がわかない。
 - ・ 広報で見ても分かりにくく、興味がないので余計分かってほしい。
 - ・ 直接関係ないので関心が無い。
- (6) 今後は県(県議会)に関心を持っていきたい< 6 件>
 - ・ 県議会に無関心であることに気づき、今後は関心を持っていきたい

Q 5 「県議会の活動」の分析結果

- 全体では「住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進<県民との意見交換の場等>」が47%を占め、一番多くなっています。
また、「わからない」が17%となっています。
- 10代・20代の層も同じ傾向で、「住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進<県民との意見交換の場等>」が一番多く、40%を占めています。

◆その他 県民からのご意見

○「議員活動・議員の資質」に関するもの<計 29 件>

- (1) 議員の資質向上<13 件>
 - ・質の無い議員がいる。態度も良くない。辞職勧告して欲しい。
 - ・各議員の資質向上を願う。そのためにも県民の資質向上が必要。
- (2) 政治倫理の確立（議員の SNS 上等での発信に係る問題を含む）<12 件>
 - ・各議員の品位を保つことに責任と自覚を持つこと。
 - ・発言内容に注意されない方がみえるのは、県民として残念。
- (3) 県民全体の福利の視点に立った議員活動<4 件>
 - ・サラリーマン議員しかいない。

○議員の定数・報酬に関するもの<計 8 件>

- (1) 議員定数の削減<5 件>
 - ・議員定数、議員数を削減してほしい。
- (2) 議員報酬の削減<1 件>
 - ・議員数を増やして報酬をさげる。
- (3) その他<2 件>

○今回のアンケートの取り方への疑問<計 4 件>

- ・普通の言葉、表現、話で伝えた方が分かりやすく、回答しやすい。

○その他<計 11 件>

- ・その他、個別の行政施策等に対する要求・要望 など